---------------------------------------------------------

「ネットワーク実習」 レポート

---------------------------------------------------------

課題： R3（適宜書き換えること）

学生番号： 37022431

氏名： 西　葵斗

所要時間： （ 10 ）時間

（注意）各課題に対して，内容（プログラムの仕組み）と考察（苦労した点，工夫した点）を必ず記すこと．

-----------------------------------------------

(A3\_1)

内容：与えられたpythonスクリプトによって表示できるHTMLファイルを作成。

考察：ステートメントとして処理を実行するためには{% %}で囲ってあげて、そのなかに処理を記述することでif文やfor文を使えることを理解した。記述していて分かったことは終わりを示す‘endfor’や‘endif’はそれらを組み合わせるときにどのラインがifやforの終わりなのかが分かりやすいということである。

-----------------------------------------------

(A3\_2)

内容：3つ以上のイベントに関する情報をPythonスクリプトa3-2.py内でリスト等に保存し，それを表形式で表示するHTMLファイルa3-2.htmlを作成

考察：表形式で表示するにはtableタグを使い、trタグで行に追加していく。Pythonスクリプトの方であらかじめ表示する目次のschemaとそれぞれ詳細であるtableを定義し、そこから for文を用いてその行にtableの要素をすべて入れていく。一つのオブジェクトの情報を並べたら、tupleという変数のfor文の処理によりさらにtrタグが追加され改行するという形になる。

-----------------------------------------------

(A3\_3)

内容：フィルターを使ってイベントまでの残り日数（過去のイベントは負数とする）を表示する

考察：HTMLファイルの方で第一引数にオブジェクト配列tuple[1]、つまり文字列の日付を引数として、第二引数のフィルター名remaining\_daysで残り日数を計算させるという仕組みにした。文字列をどのようにしてdatetimeオブジェクトに変換しようと調べたときにdatetime.strptime(date\_str, "%Y/%m/%d")を使って文字列を変換させることが分かったのでそれで残り日数を計算させた。

-----------------------------------------------

(A3\_4)

内容：前問の課題でコンテキストプロセッサを使用して表示させるように変更する。

考察：課題ではフィルターとコンテキストプロセッサを組み合わせて使用したが今回はコンテキストプロセッサだけで完結させたので関数の引数はtableの２列目の要素の日付のみとなった。

-----------------------------------------------

[感想] 課題全体に対する感想

今まではpythonスクリプトで処理をしたものをHTMLファイルに渡すようなプログラムだったが、ステートメントによって特定の条件が達成された場合のみ表示させ、リストや配列の要素を記述できるようになった。今回の課題のように文字列を変換して残り日数を計算するのはpythonスクリプトの方でして簡単な処理で行えるものはHTMLファイルで処理をさせるとよいと考えた。